

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
分子生物学	4年次	必修	講義	2単位（30時間）	小杉日登美
授 業 概 要					
<p>分子生物学は生命現象を分子レベルで解明する学問である。遺伝子の発現機構、生体内の情報伝達および防御機構について学び、生命活動を分子レベルで捉える視点を身につける。1年次で履修した生物学、化学、有機化学の学習内容を復習しながら授業を進める。</p> <p>第12回～15回は、国家試験対策として基礎栄養学・生化学・分子生物学分野の演習を行う。</p>					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・生命活動を分子レベルで化学的に捉えることができる。 ・遺伝子の発現機構について説明できる。 ・細胞内シグナル伝達の仕組みについて説明できる。 ・防御機構について説明できる。 					
実務経験のある教員					
回	学 習 内 容				担当教員
1	分子生物学・分子栄養学の基礎				小杉日登美
2	遺伝子の働き				
3	遺伝子の発現制御				
4	内分泌因子と栄養素による情報伝達機構				
5	さまざまな生命現象と遺伝子				
6	ヒトの遺伝子				
7	ヒトの疾患と遺伝子				
8	遺伝子操作技術				
9	遺伝子技術の応用				
10	分子生物学と医学				
11	分子栄養学の発展				
12	演習①				
13	演習②				
14	演習③				
15	演習④				
学 習 方 法					
専門的な内容を扱うため、予習復習をしっかりと行うこと。わからないことは積極的に質問するとよい。					
評 価 方 法					
科目修了試験60%、小テスト、学習意欲・態度を40%とし、総合的に評価する。					
先 修 科 目					
教 科 書、参 考 書					
レジュメを配布					